

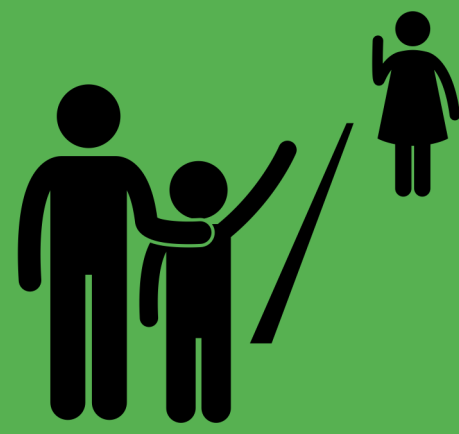
第4回強度行動障害を有する者の地域
支援体制に関する検討会
令和4年12月27日 資料2

思春期に噴火した

息子の経験から

東京都自閉症協会理事
田中由佳





はじめに

おもに在宅で
お子さんの行動に
困っておられる
保護者の皆様へ



東京都自閉症協会 有志11人から

- ・ **東京都自閉症協会（TOJI）資料**
← ～困っておられる保護者の皆様へ
（QRコードから参照できます）

をベースに

- ・ **1人の母親としての思いを
話させていただきます**





TOJI資料のまえがき

おもに在宅で
お子さんの行動に
困っておられる
保護者の皆様へ

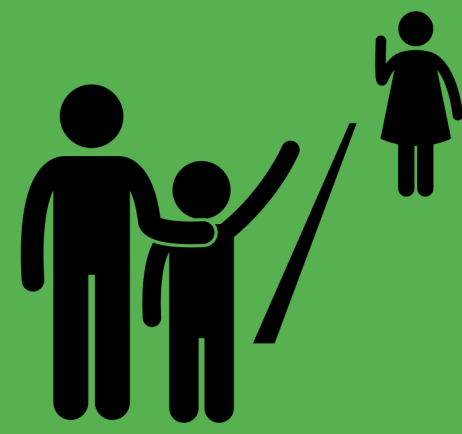


東京都自閉症協会 有志11人から

※いろいろなあって休火山

(なんとかなったあとも...) 環境条件や関わりが適切でなければ、再び以前の状態が現れる可能性はありますが、本人の成長もあり、現在、多くは準安定状態に(活火山が休火山に)至っています。状態も原因も回復の過程も、また、現在の生活も入所やグループホーム、在宅など人それぞれです。





おもに家庭（特に母子） に関する項目



- ・ 身体も大きくなる **思春期**に問題が顕在化しやすい。
- ・ （母親に対して顕在化しやすく）、母親が子の行動を怖いと感じる場合、**理解ある他の人の介入が望ましい**。
- ・ 家庭での対応が困難な場合は、**子どもと離れる事**も有効。その期間で子どもも母親も立て直せる。





ここから1人の母親としての話です！

- ・ 次男、23才
 - ・ 知的重度（愛の手帳2度）
 - ・ 支援区分6
 - ・ 施設入所（19才から）
- 最年少です





フラグを つくりまくってました

- ・ バッチリハイリスク児
（多動、こだわり、睡眠障害...）
- ・ みっちりスケジュール
（毎日これでもかと療育や運動）
- ・ 一貫しない対応
（かわいがったり無視したり）





その当時の思い込み こんな感じです

ここまで極端でなくても、
障害児を育てる親は、
なにかしら「負い目」
を感じていると思います...

性格
=短気

人目
=ちゃんと
育てないと

社会
=役に立たなけ
ればならない

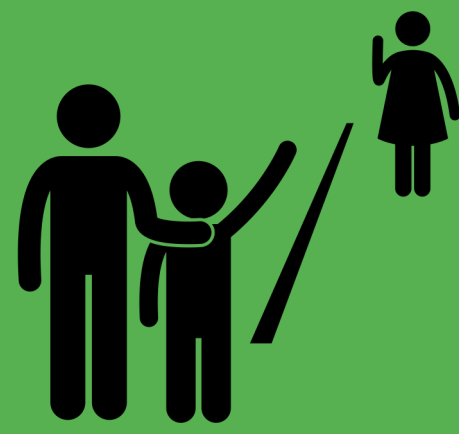




あんのじょう、 思春期に噴火しました

- ・ 全身トリガー状態
- ・ 特に私（母親）に向かう
- ・ 自宅ではトイレか外に逃げる
- ・ 虐待にならない拘束はないか...
真剣に考える

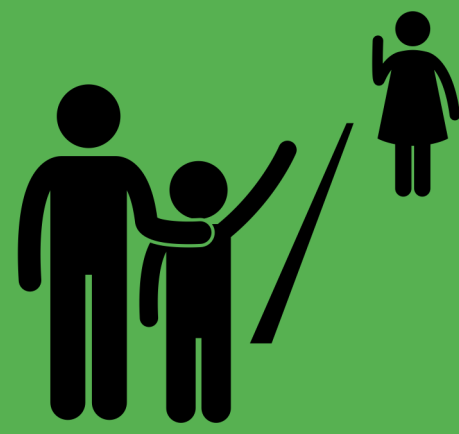




つらかったこと

- ・ **行政に相談**
 - ➡ 親身に聞いてくれるが...
- ・ **他害**
 - ➡ 気づいたら季節が変わってた...
- ・ **自責**
 - ➡ もっと本人を尊重していれば...





ただし私はラッキーだった

- ・ 親の会、地域のつながり
➡ 事業所が見つかり少し離れられた
- ・ まさか、まさかの入所
➡ 複雑だが、結果、関係はととても
 落ち着いた

そうできない人は多いです





かかえこんでしまおう親

- ・ 人に預けられない
(問題行動が増える。別の問題が起こる)
- ・ 相談できない
(頼れない。頼ってもうまくいかない)
➡ 無力感がたまるだけ
- ・ 大変さが日常になってしまおう。
➡ 麻痺。共依存。孤立。



経験から個人的に
必要だと実感するのは

同居、別居に
関わらず

親子がそれぞれの
時間をもてること





そのためには (前々スライドの裏返し)

- ・ 人に預けられる ・ 在宅なら入ってもらえる
(在宅→居宅介護、訪問看護、行動援護など...)
- ・ 相談できる
(ゆるくつながることのできる場)
- ・ 子どもは子ども、自分は自分
(親もふつうに老いる)





最後に

あくまで私の場合、ということと...

在宅、グループホーム、施設、自立生活、
どんなかたちでも、本人が選べ、失敗も
ふくめて体験でき、それをよしとしてくれ
る社会となることを望みます！

ありがとうございました

